

海の恵みで野菜作り

F & Y 境港は障がいのある方約30名が働いており、作業の一つとして海藻肥料を作っています。

認定NPO法人自然再生センターが中海で刈った海藻を乾燥し粉状にし販売するとともに、農場で使用しています。利用者の適性にあわせ、肥料作りと野菜作りの工程を分担しています。

農場では、入所者と農業が専門のスタッフがほうれん草、ピーツなどを作っています。軌道に乗るまで土壌を分析したり、他の肥料や農法を組み合わせるなど試行錯誤し、出荷できる品質になり



海藻を乾燥しています



ほうれん草が育っています

ました。

「現代の野菜は畑のミネラル分が減り栄養分が減っているため、海藻肥料で海からのミネラルを野菜に補給できる上、窒素、リンを湖外に持ち出すので水質浄化に貢献できる」とスタッフの山田さん。今後も工夫を重ね、美味しい野菜作りを続けます。

■お問合せ

F & Y 境港

〒684-0041 境港市中野町1929-1

電話 0859-42-1121

地域と連携した活動

米子南高校家庭クラブは家庭科を履修する生徒で組織し、役員10名を中心に活動しています。地域と連携し、特産品やこれまで企業で廃棄されていた食材を有効活用し創意工夫を凝らした食品作りなどを行っています。

廃油キャンドル作りやわりばしの回収など、環境保全につながる取組にも力を入れています。

毎年中海環境フェアに出展し、平成29年はアクリルたわし作りコーナーの出展やクルージングのボランティアスタッフとしても参加したほか、中海アダ

中海・宍道湖一斉清掃



中海環境フェアに出展

プトプログラムに登録し、年3回活動しています。

6月の中海・宍道湖一斉清掃では、役員が部員に参加を呼びかけ、100人以上が参加しました。

参加して、中海の環境保全や利活用に地域の多くの人が関わっていることを知り、協力することによりがいを感じた、と役員の方々の皆さん。

今後も、校内、校外の多くの人と連携し、地域に役立つ活動を続けます。

■お問合せ

鳥取県立米子南高等学校

〒683-0033 米子市長砂町216

電話 0859-33-1641

藻がするプロジェクト

米子南高校家庭クラブ